

【新】・・・新規事業

中小企業等、商店街等への支援

| 事業名 | 予算額 |
|--------------------------------|--------------------------------|
| (1) 中小企業のブランディングを支援 【新】 | (1) ~ (3) の合計 105,562千円 |
| (2) 中小企業のデジタル化支援 【新】 | |
| (3) 商店街イベント支援の拡充 | |

ここがポイント！

- (1) 中小企業のブランディングを支援
 - 区内企業の一般消費者向け商品をブラッシュアップし、知名度向上を支援
- (2) 中小企業のデジタル化支援
 - 各事業者に適したデジタル化プラン立案のサポートからデジタル技術導入費用の補助まで一体的に支援
- (3) 商店街イベント支援の拡充
 - 区内商店街の賑わいを後押しするため、イベント支援補助額を拡充し商店街組織を維持・活性化

事業概要

(1) 中小企業のブランディングを支援

- 自社の技術力を一般消費者向けの新たな商品へ転用し、販路拡大を目指す企業へ商品ブラッシュアップ支援、マーケティング・販路拡大支援を実施する。
- 企業・商品の知名度向上や新たな販路の獲得による収益性の向上を目指す。

(2) 中小企業のデジタル化支援

- デジタル化の専門家が伴走支援し、課題抽出から具体的な取組み方針について一緒に考え助言する。
- 支援の結果を踏まえ、労働生産性の向上や販路拡大のためにデジタル技術等を導入する際の費用を補助する。

※補助率 2/3、補助上限額 300 万円



4—1 経済と環境の好循環を地域力で創出

(3) 商店街イベント支援の拡充

- 法人商店街が実施するイベント事業に対する負担を軽減し、法人商店街の組織の維持・活性化を後押しするため、組織活力向上支援事業枠を新設する。
※補助率 11/12、補助上限額 500 万円
- 任意商店会には他団体との連携を今後検討する。
- 複数の商店街が共同で行うイベント事業に対し、補助額を拡充することで、イベントの継続的な開催と拡充、商店街同士の連携の強化を目指す。
※補助上限額 300 万円から 500 万円に拡充



【担当】

産業振興課長

電話 03-5390-1232

【新】・・・新規事業

新たな産業の担い手の発掘

| 事業名 | 予算額 |
|------------------------|---------------------------|
| (1) 赤羽イノベーション大学 | (1) ~ (3) の合計 24,706千円 |
| (2) 児童向け起業体験ワークショップ【新】 | |
| (3) 空き店舗活用による担い手育成【新】 | |

ここがポイント！

- (1) 赤羽イノベーション大学
- 令和7年1月オープンの「赤羽イノベーションサイト」で起業を目指す方などを対象に講座を開催
 - ※あわせて事業のブラッシュアップや人脈形成もサポートする
- (2) 児童向け起業体験ワークショップ
- 小学生（4～6年生）を対象にしたワークショップ形式の講座を開催
 - 自分の手を動かし、グループの仲間と話し合い、事業計画書の策定まで行う
 - 講師や金融機関と連携し受講生の事業計画をブラッシュアップ
- (3) 空き店舗活用による担い手育成
- 空き店舗を活用して、商店街への出店やコミュニティビジネスを始める起業家を対象とした改修費への補助を新設
 - ※あわせて賃借料への補助も拡充する

事業概要

(1) 赤羽イノベーション大学

- 2つのコース（基本課程・専門課程）を用意。
 - 基礎課程コース：ビジネスの基礎を学ぶ
 - 専門課程コース：地域課題の解決などカリキュラムを複数用意
- 赤羽イノベーションサイト内のコワーキングスペースやWEBツールで人脈形成をサポートし、知識や技術が掛け合わさることでイノベーションを促進する。
- 起業家や地域のプレイヤーが互いに影響しあい、地域にイノベーションをもたらす循環をつくる。



4-2 経済と環境の好循環を地域力で創出

(2) 児童向け起業体験ワークショップ

- 小学 4～6 年生を対象に、事業計画の作成から発表を体験できるワークショップを開催することで、子どもが実践をとおして起業の流れを学ぶ機会を提供し、アントレプレナーシップの醸成を図る。
- 定員は 20 名程度。1 日かけての講座実施を予定。チューターを各班に 1 人配置することでいつでも質問ができる環境を整える。



(3) 空き店舗活用による担い手育成

- 区内商店街にある空き店舗を活用して事業を行う起業家や、コミュニティビジネスを行う起業家に対し、店舗の賃借料と改修費の一部を補助するとともに、専門家による経営支援も行う。

| | 補助期間 | 賃借料 | | | 改修費 | 新規 |
|--------------------|----------------|-----|--------------------------------------|----|-----|--------|
| | 拡充 | 補助率 | 上限額 | 拡充 | 補助率 | 上限額 |
| 商店街での開業 | 1 年間 → 2 年間 | 1/2 | 1 年目：5 万円 → 7 万円 2 年目：なし → 5 万円 | | 2/3 | 100 万円 |
| うち 生鮮三品販売 | 2 年間 | 2/3 | 1 年目：5 万円 → 7 万円 2 年目：3 万円 → 5 万円 | | 2/3 | 200 万円 |
| コミュニティビ ジネスでの開業 | 2 年間 | 2/3 | 1 年目：5 万円 → 7 万円 2 年目：3 万円 → 5 万円 | | 2/3 | 200 万円 |

【担当】

産業振興課長

電話 03-5390-1232

【新】・・・新規事業

持続可能な環境共創都市の実現

| 事業名 | 予算額 |
|---------------------------|-------------|
| (1) 事業系生ごみを減らそうプロジェクト【新】 | (1) (2) の合計 |
| (2) リユース食器活用実証実験を開始【新】 | 1, 118千円 |
| (3) スポ GOMI 大会 in 北区開催【新】 | (3) 425千円 |

ここがポイント！

- (1) 事業系生ごみを減らそうプロジェクト
- まちの小さな飲食店が取り組む生ごみ削減を伴走型で支援
 - 生ごみをバイオマスリサイクル（燃やすごみを減らす+電気に変える）して一層の資源循環、サーキュラーエコノミーを推進
- (2) リユース食器活用実証実験を開始
- イベントで多く捨てられている使い捨てプラスチック製容器を「使わない」＝「作らない」
 - 環境にやさしい取組みを推進するとともに、区民のリユース意識を醸成
- (3) スポ GOMI 大会 in 北区開催
- 「ごみ拾いはスポーツだ！」を合言葉にスポーツとして楽しみながら美化活動

事業概要

(1) 事業系生ごみを減らそうプロジェクト

- 特別区の喫緊の課題であるごみ減量のため、事業系可燃ごみの33.4%を占める生ごみへアプローチし、ごみ減量や清掃工場焼却設備への負荷軽減を図る。
- 飲食店従業員向け分別ルールブックの作成・配付や学識経験者による助言等の支援を行う。
- 収集運搬処理にかかる費用の全額を助成する。
- 効果検証を行うとともに、その取組み過程や結果を環境ポータルサイトで発信。波及効果の創出や見える化を行う。



4—3 経済と環境の好循環を地域力で創出

(2) リユース食器活用実証実験を開始

- 区内イベントで飲食を提供する際の容器をリユース食器に切り替えることで、プラスチックごみの削減を図るとともにその効果検証を行う。
- 大きなイベントでの実証実験を通じて、地域の関係機関との協働も推進する。



出典：(一財)地球・人間環境フォーラム『地域のお祭り、イベントなどでのリユース食器・カップの活用』

(3) スポ GOMI 大会 in 北区開催

- ごみの少ないきれいなまちの実現に向けて、環境美化に対する区民・事業者のモラル向上と区内の地域美化活動の裾野を広げるために開催する。
- 令和7年度は王子地区で開催予定
- 令和6年度試行実施結果（赤羽地区）
 - 16チーム（65人）が参加、総量66.46kgのごみを回収
 - スポ GOMI アンバサダー
松田丈志さん（競泳オリンピック）がイベント参加
 - 参加者からの意見
 - たばこの吸い殻が沢山落ちていることに驚き、改めて日頃の清掃活動の大切さを知った。
 - スポーツにすることで、楽しく清掃活動ができた。など



(参考) スポ GOMI とは
チーム対抗でゴミ拾いを楽しむイベントで、定められたエリアで時間内にゴミを拾い、量と質でポイントを競う。

【(1) (2) の担当】

リサイクル清掃課長
電話 03-3908-8538

【(3) の担当】

環境課長
電話 03-3908-8610